

愛知淑徳短大 ○竹下弓子 東海学園女短大 辻 啓子
岐阜市立女短大 山田令子

目的 学科・専攻・コースに多様化をみせている短期大学において、被服関係科目を中心に、科目名、単位数などの開講実態を、学科別、地区別、分野別に検討し、今後の被服教育の方向を考える資料を得ることを目的とした。

方法 1. 調査対象：全国の家政系短大 141校。 2. 調査時期：平成5年6月。 3. 調査方法：平成5年度学生便覧による。 4. 内容：①学科の名称と学科・専攻・コースの設置状況。②専門科目における被服関係科目の割合。③被服関係科目の分野別開講実態。④卒業研究の開講状況。 5. 集計方法：全国を4地区に分割、単純集計。

結果 1. 学科の名称は家政、生活科学、生活・家庭生活、生活文化・生活教養、被服・服装・服飾の5つに大別され、家政学科は北海道・東北、近畿地区に40～50%と多い。 2. 学科・専攻コースの設置形態は、1学科のみで専攻・コースのない短大は、関東地区が31%、次いで近畿、北海道・東北、中四国・九州と続き、最低は中部の23%である。 3. 専門科目の中で被服関係科目の占める割合の低い短大は、家政学科では中部、関東地区に多く、他の学科は地区による違いはあまりみられない。 4. 被服の分野別開講単位は、被服学一般、意匠・美学、被服構成の分野が5学科共に単位数の幅が大きい。 5. 卒業研究の開講状況は、学科により40～66%開講され、単位数は2単位が最も多く、最高8単位の短大もみられた。